帝国書院　令和６年度版「楽しく学ぶ　小学生の地図帳」QRコードコンテンツ「47都道府県地図－和歌山県」活用例

教授用資料

* ４年生における**「自分たちの都道府県」**を学習する単元が主となります（「伝統文化・先人たち」のみ別単元）。
* **太字**　部分は、「47都道府県地図－和歌山県」の活用を示しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教科書の学習項目 | 「47都道府県地図」を使った学習活動 | 指導上の留意点 |
| 日本の中の和歌山県 | * 地図帳で和歌山県の位置を調べる。
* **「県のようす」**を見ながら、県について知っていることや、地図からわかることを話し合う。

学習問題　わたしたちの住む和歌山県には、どのような特色があるのだろう。 | * 和歌山県が日本のどこに位置しているのか、理解することができるようにする。
* 単元を通して、ワークシートを活用して県の様子について調べ、分かったことや考えたことを総合して、県の特色を明らかにしていくことを伝える。
 |
| 和歌山県の地形 | * **「地形のようす」**を見て、山地・平地・川の分布を調べる。
* **「地形・土地利用」ワークシート**の**「●地形のようす」**で作業を行う。
 | * 北部は東から西に向かって紀の川が流れ、流域に平地が広がっていること、県の多くを山地が占めていることなど、県の地形の様子とらえることができるようにする。
 |
| 和歌山県の土地利用 | * **「土地利用のようす」**を見て、市街地・果樹園・田の広がりを調べる。
* **「地形・土地利用」ワークシート**の**「●土地利用のようす」**で作業を行う。また、**「●地形のようす」**と並べて見て、気づいたことをシートに記入する。
 | * 川沿いに田が広がっていることや、山の麓から中腹にかけて果樹園が広がっていること、紀の川河口の広い平地に市街地が発達していることなど、県の土地利用の様子をとらえるとともに、地形と土地利用の関連に気づくことができるようにする。
 |
| 和歌山県の市・町・村 | * **「県の市・町・村」**を見て、県内のおもな都市と、自分達の住む市町村の位置を調べる。
 | * 県内のおもな都市や自分達の住む市町村は和歌山県のどこにあるのか、理解することができるようにする。
 |
| 和歌山県の交通 | * **「交通のようす」**を見て、高速道路や鉄道がどこを通っているのかを調べる。
* **「地形・交通」ワークシート**の**「●地形のようす」「●交通のようす」**で作業を行う。また、２つを並べて見て、気づいたことをシートに記入する。
 | * 平地に交通網が発達していることなど、県の交通の様子をとらえることができるようにする。
* 南部にはトンネルが多いことに着目させ、山が多いという県の地形の特色と交通の関連に気づくことができるようにする。
 |
| 和歌山県の産業 | * **「おもな農林水産物」「おもな工業」**を見て、県内で作られているものや、その分布を調べる。
* **「交通のようす」**も見ながら、**「交通・農林水産物」ワークシート**の**「●交通のようす」「●おもな農林水産物」**で作業を行う。また、２つを並べて見て、気づいたことをシートに記入する。
 | * 「みかん」「うめ」「スターチス」など、県内のおもな農林水産物や、「洗剤」「製油」「ニット」など、おもな工業製品の記号に着目させ、県の産業の様子をとらえることができるようにする。
* 農林水産物の産地のそばには高速道路が通っていることに着目させ、全国で知名度のある産物が、高速道路を通って全国に出荷されていることを考えさせる。
* 交通と産業の関連に気づくことができるようにする。
 |
| 和歌山県の特色をまとめる | * **「和歌山県」の各地図**を見返し、**これまでに作業したワークシート**を用いて、県の特色を話し合う。
 | * これまでのワークシートの作業で気づいた地形と土地利用、地形と交通、交通と農林水産物などの関連にも着目して、県の特色を考えることができるようにする。
 |
| 和歌山県の伝統文化・先人たち | * **「おもな伝統文化・先人」**を見て、自分が知っている伝統工芸品・伝統行事・祭り・先人を見つける。
 | * おもな伝統文化・先人を確認することで、県内の伝統や文化、先人の働きを調べる動機づけを図る。
 |

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。